

「なぜ、地域振興に観光が必要なのか」

平成29年 11/30 Thursday 木曜日 【基礎コース】1日目 13:00～18:00

会場 和歌山県立情報交流センタービッグ・ユース ネットワーク実習室

13:00～13:10 開塾挨拶、趣旨説明
出口竜也 (和歌山大学観光学部観光学科 教授)

13:10～14:10 「選ばれ続ける地域とは？」
～なぜ、地域振興に観光が必要なのか？～
塾長講演 山田桂一郎 塾長

地域振興において観光が果たす役割についてやさしく解説するとともに、選ばれ続ける地域になることの重要性を明らかにしていきます。

14:15～15:25 「稼ぐためのツアーと仕組みづくり」
～香川の片隅からの挑戦～
講師講演 無双地図株式会社 横山昌太郎氏

霧が関の官僚、軽井沢でのエコツアガイドを経て、現在は香川県三豊市で「無双地図」を共同で起業し、稼ぐためのツアーと仕組みづくりに日々奮闘しています。今回の講演では、その現状と今後の課題についてお話しさせていただきます。

15:35～16:45 「あるもの活かし」で地域力発信！
～いま求められるのは「地域を編む力」～
講師講演 一般社団法人 東北インアウトバウンド連合理事長 西谷 雷佐氏
たびすけ合同会社 西谷代表

青森県弘前市を本拠地として創業した「たびすけ」において次々と着地型観光商品を開発する中で見出した「あるもの活かし」と、その発信の方法論を伝授します。また、理事長をつとめる東北インアウトバウンド連合の概要についてもお話しさせていただきます。

16:50～17:10 論点の整理
コーディネーター：竹林浩志 (和歌山大学観光学部観光学科 准教授)
講師：山田塾長、横山講師、西谷講師、出口講師
講師陣がトークセッション形式でこれまでの論点を整理して、2日目に向けた課題を提示します。

17:15～18:00 「近年の日本の観光動向について」
塾長講演 山田桂一郎 塾長

1日目の締めとめとして、近年の日本における観光消費の動向と、観光関連産業の現状について概説し、地域がいま取り組むべき問題・課題を整理します。

19:00～21:00 夕食交流会 夜なべ談義

ゲスト講師：横山昌太郎氏 株式会社 無双地図

【横山昌太郎(よこやましょうたろう)】
株式会社無双地図取締役新規事業部長 1971年広島県出身、三重県育ち。名古屋大学農学部森林保護学研究室にて吉野熊野国立公園におけるエコツアーによる森林管理に関する調査・研究を行う。野生生物保護管理に関わることを目指し環境庁(当時)に入庁。全国の国立公園の許認可業務や自然保護官などの国立公園行政、野生鳥獣の保護管理、都市公園業務(国土交通省出向時)などに9年間携わる。「自然の不思議や素晴らしさを人々と一緒に楽しむ仕事かしたい」との思いから環境省を辞職。(株)ピッキオ(星野リゾート子会社のエコツア団体)に入社、ツアーガイドとなる。森の案内やツアー企画を主としつつ、ガイド養成講習会の講師、インバウンド向けツアー業務、各地のエコツーリズム推進全体構想作成等も担当する。10年間のガイド経験後、より地域に根ざした生活と活動を旨とし2016年4月香川県に移住。翌4月より無双地図の取締役新規事業部長。地域ならではの「暮らし」に焦点を当てたガイドツアーや食サービスの提供を担当している。
資格等：博士(農学)、通訳案内士(英語)



HPはこちら！

平成29年 12/1 Friday 金曜日 【基礎コース】2日目 10:00～16:30

会場 和歌山県立情報交流センタービッグ・ユース 研修室2 (ワールドカフェのみ研修室3)

10:00～11:00 「脱B級志向で地域振興！」
～補助金漬け、劣化版コピー事業からの決別が地域を強くする！～
塾長講演 山田桂一郎 塾長

「脱B級志向で地域振興！～補助金、劣化版コピーからの決別が地域を強くする～」補助金頼み、先進事例の模倣と決別し、B級志向からも脱却することこそが地域の価値を引きあげ、地域振興を導く最も重要な方策であることを解説します。

11:10～12:00 ①地域振興を阻むカベをどう崩すか
②STPにより売れる企画を！
講師講演 トークセッション 講師：横山講師、西谷講師、山田塾長

トークセッション形式で地域振興を阻むカベにはどのようなものがあり、どうすればそのカベを乗り越えることができるのかをホンネで語り合います。また、売れる商品をつくり続けるには、考え抜き、試行錯誤を重ねることが重要です。どうすればそれができるようになるかもざっくりお話しします。

▼ 昼食 12:00～13:00 ご自由にお過ごしください

13:00～14:00 「南紀熊野の価値をどう高めるか」
～ジオの視点から見えてくるもの～
講師講演 トークセッション 講義：出口講師、此松講師

ここまでの講義において展開された論点をジオ(地形・地質)の視点からとらえ直すことで、南紀熊野の価値を検証していきます。そして、トークセッション方式で出口が経営学、此松が地質学の観点から南紀熊野の価値を引き上げ、地域振興に結び付けるための方策を提示します。

14:10～14:30 個人ワーク
論点の整理 配布されたワークシートを活用し、ここまでのカリキュラムで得た知識を整理するとともに、自身の考えをまとめてもらいます。

14:30～15:10 参加者と講師の意見交換タイム
ワールドカフェ 講師：山田塾長、横山講師、西谷講師、出口講師、此松講師
受講生全員と講師による意見交換を行います。

15:20～16:15 「感幸地を観光地に！」
～持続可能な地域経営のために～
塾長講演 山田桂一郎 塾長

どのような地域もさまざまな業種が存在することで成り立っています。一事業者の繁栄だけでは、地域を支えることはできません。また、楽しく暮らせない地域からは人口がどんどん流出してしまいます。つまり、どんなに観光地化をめざしても、そこが幸せを感じられる地域(感幸地)でなければ持続可能な取り組みには結果しません。感幸地を観光地にすることで持続可能な地域経営をめざすための仕組みについて、スイスをロールモデルにして考えてみます。

16:20～16:30 閉塾式、基礎コース修了証書授与、記念撮影

ゲスト講師：西谷 雷佐氏 一般社団法人 東北インアウトバウンド連合 理事長
たびすけ合同会社 西谷代表

【西谷雷佐(にしやらいすけ)】
1972年、青森県弘前市生まれ。高校卒業後、アメリカ・ミネソタ州立大学に入学。地元の旅行代理店に就職。ツアー客の添乗員として全国47都道府県、海外15カ国以上を添乗、ガイドのほか旅行商品の売り込みや団体客への営業などを行う。2006年に弘前商工会議所青年部に入り2009年に YEG ビジネスプランコンテストでグランプリを受賞。翌年に地元青森県弘前市で地元民だからこそ知る情報を基に旅行商品や体験プログラムを企画・運営する旅行代理店「たびすけ」を創業。経営の傍ら、観光ボランティア団体「路地裏探偵団」にて、メジャーな観光スポットではない地元住民ならではの視点で路地裏や生活圏などを巡るなど、まちあるき観光を案内。青森県サイクル・ツーリズム推進協議会に所属。国立大学法人弘前大学特任准教授として講義を行うほか、東北6県から民間企業や団体15社が集まり、国内外から観光客を受け入れられるようなプラットフォーム「東北インアウトバウンド連合」を発足。活動の拠点を弘前に置き、呼び込むだけでなく、東北エリアの人たちをもうまくつないで、最低でも東北という単位で観光客を周遊させるようなブランド化が今の目標。
ブログはこちら！



「南紀熊野観光塾」塾長挨拶＜塾の目的＞

今年で5期目を迎える南紀熊野観光塾は、「選ばれ続ける地域」をモットーに、魅力的で持続可能な地域づくりの仕組みを担う中核的な人材を育成することを目的とした塾です。「選ばれ続ける地域」では、住民が誇りを持って幸福に、そして楽しく暮らしています。つまり、幸せを感じることができる「感幸地」が「観光地」をつくると言うことができます。では、どのような地域をめざせば住民も訪れる人々も幸せを感じることができるようになるのでしょうか。南紀熊野観光塾では、それを本質から考え抜くとともに、さまざまな分野から参加された塾生の方々と間でじっくりと意見交換をしてきたいと考えています。あらためて地域づくりや観光について学び直すだけでなく、生涯にわたって一緒に活動することができる同志を見つける場としても大いに活用してください。



南紀熊野観光塾 塾長：山田 桂一郎 (やまだけいいちろう)

「南紀熊野観光塾」塾長紹介

塾長：山田 桂一郎 JTIC.SWISS 代表、日本エコツーリズム協会理事、観光カリスマ
和歌山大学 南紀熊野サテライト客員教授

2005年に観光カリスマ(内閣府・国土交通省(観光庁)・農林水産省 認定)：「世界のトップレベルの観光ノウハウを各地に広めるカリスマ」として、これまでのヨーロッパを中心とした環境保全(環境保全活動プログラム、環境教育、環境アセスメント等。海外在住者として初めての日本の環境省に登録された環境カウンセラー)と世界各地における滞在プログラム・ツアーの実施と観光・集客交流の事業化、マーケティングの経験を活かして、観光・地域振興(まちおこし)・自立型地域経営、サービス向上、人材育成や中心市街地・商店街活性化等)に関する講演やセミナーの講師として全国各地から招聘されている。また、日本国内でも地域振興・再生のコンサルタントとして様々な事業化(特に地域経営マネジメントの組織化)を進め、多方面で積極的に事業活動を展開し、多くの実質的な成果と結果を残す。民間企業やNPO法人の他にも多くの省庁や地方自治体の委員、プロデューサー、コーディネーター、アドバイザーを務め、大学や高等教育機関でも教鞭をとっている。近年は観光庁「訪日観光セミナー」講師、ミシュラン・グリーンガイドの取材コーディネイトも行う。2011年には週刊日経ビジネス誌において「次代を創る100人」の一人として選出された。欧州では、ヨーロッパ・アルプス並びにスイス全土に渡る取材・撮影のコーディネーター、ライター(日本旅行作家協会会員)、ビデオカメラマン、通訳としても活動。冬は、現地で唯一の日本人スキー教師、夏は、ハイキング、トレッキングガイドでもある。スポーツに関しては、山以外でもセーリング(ヨット)競技の元団体選手であり、パラグライダーで空も飛ぶ。陸海空の全てをフィールドとしている。

1965年 三重県津市生まれ
1987年 スイス・ツェルマット観光局 日本人対応インフォメーション、セールスプロモーション担当
1992年 JTIC.SWISS(スイス 日本語インフォメーションセンター)設立
1996年 環境省環境カウンセラー(事業者部門)として登録、ワレ州観光局日本・アジア向けプロモーション担当
1999年 Mt.6(ベスト オブ ザ クラシック マウンテンリゾート) 環境政策とCS(顧客満足度推進)顧問就任
2003年 環境省環境カウンセラー(市民部門)として登録
2004年 特定非営利活動法人 日本エコツーリズム協会 理事、まちづくり観光研究所 主席研究員
2005年 内閣府、国土交通省、農林水産省認定 観光カリスマ
2010年 総務省「地域力創造アドバイザー」
2011年 和歌山大学客員教授 北海道大学客員准教授
2015年 内閣府官房「地域活性化伝道師」、和歌山大学 教育研究アドバイザー

「南紀熊野観光塾」講師紹介

講師：出口 竜也 和歌山大学 観光学部 観光学科 教授

【出口竜也(でくち たつや)】和歌山大学 観光学部観光学科 教授
1964年石川県金沢市生まれ。1987年富山大学経済学部卒業。1991年神戸商科大学(現在兵庫県立大学)大学院経営学研究科博士後期課程を中退し、徳島大学総合科学部専任講師に就任。同学部助教を経て、2007年和歌山大学経済学部観光学科教授に転任。2008年より現職。専門は経営組織論、経営戦略論、観光経営論。近年は、人類的アプローチによる経営学研究や産業集積研究に高い関心を持っている。また、諏訪産業集積研究センター(SIARC)理事、いき交流文化デザイン研究所理事、日本うどん学会評議員など、幅広い分野で要職を務め、学術的な活動を進めている。
(著書)「日本の経営の本流―松下幸之助の発想と戦略―(共著、PHP研究所1997年)」、「ケースブック現場イズムの海外経営(共著、白桃書房1997年)」、「社員の経営人類学(共著、東方出版1999年)」、「経営学への旅立ち(共著、八千代出版2001年)」、「企業博物館の経営人類学(共著、東方出版2003年)」、「ケースブック・ビジネスモデルシナキング(共著、文眞堂2007年)」、「経営戦略の基礎(共著、東京経済情報出版2007年)」、「会社文化のグローバル化(共著、東方出版2007年)」、「新グローバル経営論(共著・白桃書房2007年)」、「経営理念―継承と伝播の経営人類学的研究―(共著、PHP研究所2008年)」など。

講師：竹林 浩志 和歌山大学 観光学部 観光学科 准教授

【竹林浩志(たけのけやしひろし)】和歌山大学 観光学部観光学科 准教授
1970年大阪府生まれ。1995年関西大学商学部卒業。2000年関西大学大学院商学研究科博士課程後期課程を単位取得後退学し、南山大学(現 南山大学)観光学部専任講師に就任。同学部助教を経て、2007年和歌山大学経済学部観光学科教授に就任。2008年より現職。専門は観光戦略論、経営組織論、リーダーシップ論。近年は、観光地運営における戦略主体の移転や組織的凝集力などを中心とした経営学的研究に高い関心を持っている。また、観光庁「観光地域づくり人材育成ガイドライン検討会」委員も務めている。
(著書)「現代のチーム制―理論と役割―」(共編著、同文館、2003年)、トライブ著『観光経営戦略―戦略策定から実行まで―』(共訳書、センゲージラーニング、2007年)、「ホーソン実験の研究―人間尊重的経営の源流を探る―」(共著、同文館、2008年)、「観光入門―観光の仕事・学習・研究をつなぐ―」(共著、新曜社、2011年)など。

講師：此松 昌彦 和歌山大学 教育学部 教授
災害科学教育研究センター長



【此松昌彦(このまつまさひこ)】和歌山大学教育学部 教授
1963年東京都生まれ。1987年東海大学海洋学部卒業。1996年大阪市立大学大学院理学研究科後期博士課程を単位取得後退学し、南山大学(現 南山大学)教育学部専任講師に就任。1999年和歌山大学教育学部助教授に就任。2008年より現職。2010年より和歌山大学防災研究センター長を併任。専門は地質学・古環境学・防災教育、和歌山県では新生代の地質、特に第四紀の古環境について研究している。学校や地域での防災教育プログラムを開発している。最近は南紀熊野ジオパーク推進協議会の学術専門委員として、南紀熊野ジオパークをサポートしている。ジオパークから地域住民が、住んでいるところの自然史を学び、災害に対して備えるためのプログラムを研究している。

